

みどりいっぱいプロジェクト

1

[何のために?]
ねらいや効果

人や小動物にやさしい緑の環境を豊かにするために、今ある緑を保全し、緑を増やす取り組みを実施します。そのことが、ヒートアイランド防止を積極的に進めることとなります。

関連する環境指標 (詳細は資料編参照)

緑の回廊延長、残したい樹木・樹林の指定数、
市民に開放された樹林地箇所数、
敷地面積 1,000m²以上事業所の緑化率 30%以上の割合



2

[何をいつどのように?]
具体的な進め方

□: 市民主体・行政共働 / □: 行政主体・市民参加

1) イベントなどを通じて緑に対する意識を高める

| | 21-25年度 | 26-30年度 |
|----------------------------------|---------|---------|
| 残したい樹木・樹林 100 選の実施と P R | □ ● | ● |
| 教育機関や自治組織でのフラワーブラボーコンテストの開催の P R | □ ● | ● |
| 各家庭におけるお庭自慢コンテストの開催と P R | □ ● | ● |
| 地域に愛される公園コンテストの開催と P R | □ ● | ● |

2) みんなが憩える緑道をつくり育む

| | 21-25年度 | 26-30年度 |
|--------------------------------|---------|---------|
| 岩崎川の桜並木から上流にかけての緑道整備 | □ □ | ● |
| 愛知用水日東支線の緑道整備 | □ □ | ● |
| 天白川沿いの散策コースとポケットパークの整備 | □ | ● ● |
| その他の道路や河川沿いの緑道整備の調査検討 | □ | ● ● |
| アダプトプログラムや公園愛護会による公園、街路樹等の美化活動 | □ | ● ● |

3) 緑のネットワーク化を進める

| | 21-25年度 | 26-30年度 |
|---------------------------|---------|---------|
| 航空写真からの経年的な緑被量の調査 | □ | ● |
| 市内の緑のネットワーク化計画の策定 | □ | ● |
| 一定規模以上の事業所や開発時の緑確保制度の導入 | □ | ● |
| 里山の保全、整備方法の検討 | □ □ | ● ● |
| その他緑の保全・緑化を進めるための制度の検討と導入 | □ | ● |

3

[どこで?] 実施場所

日進市全域の家庭、公共用地、事業所のできる所から

4

[誰が誰と何を?] 取組主体と関係者の役割

取組主体 市民団体（地域自治組織、環境パートナーシップ組織）
市（水と緑の課、まちづくり推進課、建設課）

市（行政）

緑道の整備
緑のネットワーク化計画
（緑の基本計画）の策定
緑の保全・緑化のための
制度の導入
取組主体へのその他支援

市民団体

プロジェクトの推進
イベントへの参加・協力

事業者

緑化の推進
イベント・活動への協力

教育機関

イベントへの協力

市職員

専門分野での支援

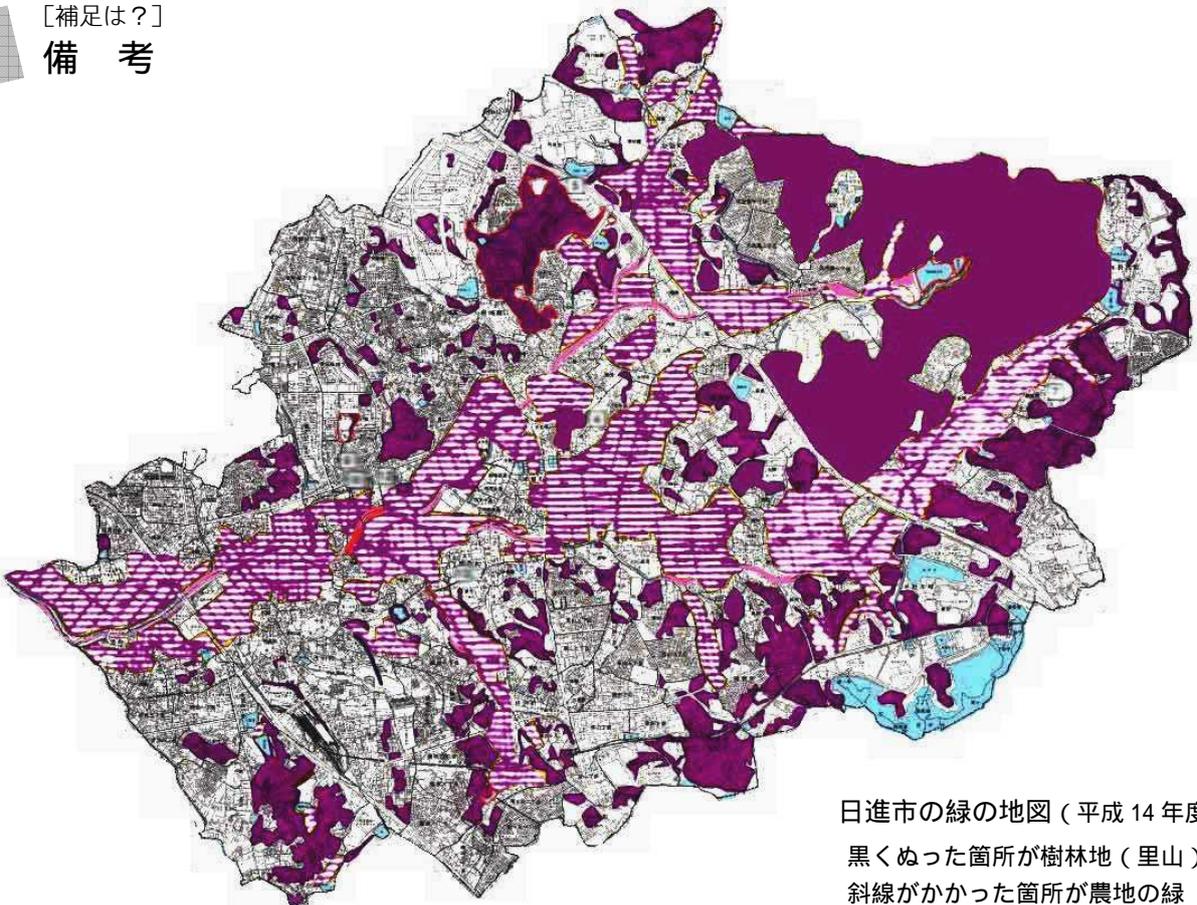
市民（滞在者等を含む）

緑化の実践
イベントや活動への参加

注）■：取組主体としての役割、▨：関係者としての役割

5

[補足は?] 備考



日進市の緑の地図（平成14年度現在）
黒くぬった箇所が樹林地（里山）の緑
斜線がかかった箇所が農地の緑